

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】 平成 21 年度

事業所番号	2773600453		
法人名	有限会社 アキラ		
事業所名	グループホーム アキラ		
所在地	大阪府交野市藤が尾6-4-1		
自己評価作成日	平成 22年 2月 20日	評価結果市町村受理日	平成 22年 4月 23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.osaka-fine-kohyo-c.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2773600453&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター		
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内		
訪問調査日	平成 22年 3月 23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近隣には小学校、郵便局、幼稚園、商店などがあり恵まれた環境の中にあります。田畑に囲まれた緑豊かな住宅地中にグループホームアキラがあります。入居者は毎日の食事が楽しみなので、できるだけ手作りおやつをだしたり、畑で入居者さんが作ったお野菜を収穫し食べる等日々変化をつけ工夫しています。筋力低下防止の為晴れの日には、近隣を散歩をし雨の日には廊下で歩行運動をしています。1階と2階の入居者が一緒に散歩したり、1階と2階のフロアを行き来することにより入居者同士の交流を大切にしています。入居者が落ち着いて過ごせるのか日々職員同士で話し合い支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

営利法人が運営する、周辺が自然環境に恵まれた元日本食の料理屋の建物を改装した独特の落ち着いた訪ねやすい雰囲気ของกลุ่มホームです。「誰もが生き生きと生きていける共生の市民生活」を理念として明示し、定例のスタッフ会議や毎日の業務を通じて職員と方針を共有し、介護サービスに反映させ、利用者が安心して楽しく生活を続けられるよう家族、地域の人たちと共に支えています。毎朝の周辺散歩で地域の人と挨拶を交わし、近所付き合いをしています。小学校や幼稚園児と交流し、ホームを訪れる近所の友人や同じ趣味の会の友人とも交流し、ボランティアと紙芝居や語り、歌、マジック等を楽しんでいます。またチームワークのいい職員に囲まれ、『アキラ菜園』で採れる野菜を使った美味しい食事を提供しています。職員は利用者に対し優しく丁寧な雰囲気で見守り、利用者はゆったりと過ごしています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1階・2階のリビングに理念を掲示し、毎月の全職員との会議中で理念をベースに日々のサービスに取り組んでいる。	「誰もが生き生きと生きていける共生の市民生活」を理念としてリビングに明示しています。定例のスタッフ会議や毎日の業務を通じて職員と方針を共有し介護サービスに反映させ、利用者が安心して楽しく生活を続けられるよう家族、地域の人たちと共に支えています。	事業理念には地域密着型サービスの意義をふまえた表現を盛り込むことが望まれます。新しい理念の作成にあたっては全職員が共有できるよう管理者と職員全員で話し合っ作成されてははいかがでしょうか。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の時には挨拶をして、地域の人たちに声を掛けている。地域の3カ月に1回の溝掃除も入居者中心で地域の人たちと交流していただいている。地域の回覧板は入居者中心で回している。	毎朝の周辺散歩で地域の人と挨拶を交わし、地域の会館でのピンポン練習に参加し、地域の清掃活動にも参加して近所付き合いをしています。利用者は小学校や幼稚園児と交流し、ホームを訪れる近所の友人や同じ趣味の会の友人とも交流しています。またボランティアと紙芝居や語り、歌、マジック等を楽しんでいます。管理者は市内の6ヶ所のグループホームと共に「地域サポーター制度」を支援するため、市に対して見学の受け入れや講師派遣の申し入れをしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	散歩の時など挨拶をして地域の方にかかわる事で認知症の人の理解や支援に活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進が異議は、市職員・民生委員・区長・利用者・利用者ご家族・事業所(管理者・職員・介護支援専門員)で3ヶ月に1回開催している。会議では意見交換し地域の行事などを聞き積極的に行きサービスの向上に生かしている。	運営推進会議は市職員、地域住民代表の区長や民生委員、利用者、家族の参加のもとで3ヶ月に1回開催されています。会議では事業所の活動状況や行事、利用者の生活状況、職員の研修等について説明し、ホームの抱える課題についても意見交換をするなど内容は充実しています。メンバーとホームで食事会をしたり、全家族にも議事録を送付しています。	今年から運営推進会議の意義や役割について更に理解を深めるため、地域の協力を得て年6回、もしくは概ね2ヶ月に1回開催する予定です。今後は、運営推進会議を定期的に開催することが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所には頻りに訪問し事業所の運営の相談や情報提供などで協力関係を気づく様に取り組んでいる。	市の担当職員とは普段から困難事例の相談等を通して、協力関係を築いています。市の介護相談員を受け入れ、市も参画する自主運営の交野市地域密着型サービス事業者連絡会に参加し、情報交換や見学交流をしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関に施錠はしているが、入居者が出かけたい時には職員と共にできるようにしている。1階・2階へのフロア移動は自由である。	身体拘束のないケアに取り組んでいます。外出願望については見守りで対応していますが、玄関扉については施錠しています。	利用者や家族への心理的拘束感を軽減するためにも、日中の可能な時間帯だけでも見守りの強化等を行うなど、安全面に配慮しながら、少しでも鍵をかけないようにする工夫が期待されます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止などの研修は1人でも多くの職員に参加してもらい虐待防止を正しく理解してもらい支援に虐待が無いように注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	これらの制度の研修には積極的に職員は参加し、必要な利用者にはご家族など皆で話し合い、それらを活用できるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族様と話し合い契約時・解約時には説明する時間をとっていた大樹十分に説明を行っている。又重度化に伴う機器等の負担経済的な不安、報酬加算の必要性の説明や料金改定の理由の時など、その都度ご家族様に個別に丁寧に説明を行いご理解いただけるよう話し合いを重ねています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関に意見箱を設置しています。 利用者ひとり1人のファイルにご意見表をつけ、ご家族様や利用者の意見を記入していただいています。それに対してGHアキラで話し合い話し合った結果、返事もつけさせていただきそれをスタッフが周知できるようにしています。声が少ないご家族様の声を逃さないようにしています。	家族との面会時には利用者のケースファイルを手渡して利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、家族の意見欄に記入を求めて、後刻ホームでの検討結果を伝えていきます。利用者の健康や安全に関わる事項については、その都度家族へ電話で報告しています。今年から利用者の誕生月に家族を招待して昼食会を実施しています。また季刊(今年から2ヶ月毎発行予定)の「アキラだより」にお知らせや行事予定・実績報告、菜園情報等を写真も載せて発行し家族に送付しています。意見箱もホーム内に設置し、市の介護相談員を受け入れ、利用者が外部者に要望を表せる機会もつくっています。	家族とのコミュニケーションをさらに深めるため、サービス担当者会議や運営推進会議への参加を呼びかけるとともに、定期的に担当職員が利用者の体調や生活状況を書いた手紙を家族に送付することなどが期待されます。また、家族同士も交流できる行事を増やすなど、利用者や家族が意見を表出できる機会を充実させてはいかがでしょうか。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングで意見や提案を聞き取り運営に反映させている。	定例のスタッフ会議で業務の改善事項や課題について話し合い、職員の意見や提案を聞く機会を設けています。年に1度幹部と面談できる機会があります。ホームでは、研修会参加や資格取得の支援もしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回は職員のストレス発散の場もっています。各自が向上心を持って働けるように希望の出勤日数や希望休をほぼとりいれ勤務表をつくっています。職員個々の悩みも対処できる時間を管理者は設けています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内、外の研修などを市職員が働きながら技術や知識を身につけていき職員全員がスキルアップを図る育成に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	3ヶ月に1回GH協議会があり、そこで研修や勉強会をしている。H21. 22はGHの見学会を行い事業所同士との交流をしました。同業者の施設を見学させてもらう事により、スタッフも日々のサービス向上につなげている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居までに数回ご本人さんと話し合う機会を設けていただき、入居に関しての要望や不安などを出来るだけ聞き安心して入居していただける様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族にホームを見に来ていただくことによって理念や雰囲気を理解していただき、その時にご家族様と話し合う機会を設け十分に説明させていただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・ご家族より情報を聞き、今なにが必要なのかを職員と共に話し合い出来る限り今までの在宅生活に近づく様な支援をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は入居者さんの想いに少しでも寄り添い同じ物を見て一緒に共感していく事で信頼関係が気づいていけるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム側がなんでも行うのは無く、常にご家族様と相談してご協力を頂きながらどうしたら入居者がよりよく過ごせるのかと考え支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人に会いに商店へいたり、地域のボランティアさんが毎月ホームに来ていただいたりしています。入居者から希望があればなじみの場所に出かけるよう支援しています。	利用者が大切にし、大事に思う馴染みの人や場所を聞き取り、関係継続の支援をしています。アセスメントに記録されている友人からの電話・訪問を受ける時、行きつけの美容院に出かける時、マージャン相手のいるデイサービスに出かける時、家族へ電話をする時や手紙を出す時等に支援をしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1階・2階の入居者が自由にフロアを行き来する事で孤立を防ぎ入居者同士の交流を深めれるように玄関掃除当番などをつくり職員とともに交流を深めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても相談にのったり、職員が退去された方に会いにいたりするなど関係を大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中でコミュニケーションをとることによってより希望・意見・要望を聞いたり、ご家族様から趣味・生活暦を聞き、本人様に喜んで過ごせる様カンファレンスで話し合い本人本位にし無理を押し通さないようにしています。	アセスメントで暮らし方の希望や思いを把握して、利用者の個性を生かせるよう日々のケアを実施しています。	利用者の暮らし方の希望や思いを生活歴とともに確実に把握・記録する方法に改め、その後の日々の暮らしの中で利用者や家族が語る希望や思いも追記し、職員間で情報の共有を図ることが期待されます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様や本人さんから聞いた話などをとサービス利用に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人ひとりのできる力、わかる力をスタッフの間で話あいその日の体調に合わせて支援するように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がよりよく暮らせるようにご家族と話し合いの後ケアのあり方などカンファレンスで意見やアイデアをだし、介護の現場で実践できるような介護計画を作成している。	介護計画は3ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度、見直しを行っています。月毎のスタッフ会議でカンファレンスし、計画作成担当者はケース記録でモニタリングを行い、サービス担当者会議で介護計画の方向性と内容を決めて見直しにつなげています。	介護計画は援助項目毎に現在の介護記録表に書き込み、職員間で徹底するとともに、職員によるモニタリングの実施が望まれます。サービス担当者会議に家族も参加してもらうことを検討されてはいかがでしょうか。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録用紙を改善したがケアの実践・結果・気づきを細かく記載する様もう少し工夫する必要がある。 毎日個人記録をしている。又各自出勤前には目を通し情報を共有し、ケアに生かしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・ご家族の状況に応じて個々にあった、かかりつけ医に通院、往診していただいている。又、緊急時にも付き添い出来る限り本人・ご家族への負担を減らせるよう早期退院の支援などを迅速に行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	郵便局にはがきや切手、お花屋さんには花など本人さんの嗜好品を買いに行ったりしています。郵便局にお手紙をだしに行ったりしています。地域の夏祭りや小学校での昔遊びなどに参加しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームに入られる前のかかりつけ医の希望のある方はご家族と相談の上、かかりつけ医にいただいている。	家族と利用者の同意を得て、協力医療機関の医師による定期的な訪問診療を受け、職員として配置されている看護師と連携しています。また利用者は必要の都度、以前からのかかりつけ医の受診を受け通院介助も行っています。協力病院と連携し、急変時の対応についての体制も整備されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護しているスタッフは小さなことでも気づいたことを管理者に報告し、管理者は医師に相談し医療支援を受けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ご家族様とご相談の上早期退院に向けて話し合いをしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今後は、重度化している入居者様、ご家族様と医師と共に話し合い情報を共有しながら日々の変化に対応していきます。	ホームでの看取り実施の実績はありませんが、看取りの実施への方針をもち、マニュアルも作成して、家族と話し合っています。利用者が重度化した場合も可能な限りホームでの生活が継続できるよう、サービス開始の早い段階から利用者や家族の意向を聞き、方針の共有を図っています。かかりつけ医と連携を図り、状況の変化に合わせてその都度、利用者や医師、看護師、家族と話し合いを行い、対応していく予定です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ヒヤリハットをもとにその都度日々の業務の中で実践力を身につけていけるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を行っている。 運営推進会議などでホームの見取り図をわたして協力を呼びかけている。 地域のスタッフには緊急時駆けつけてもらえるように周知している。	災害に備えるマニュアルを作成し、年に2回の避難訓練を実施し、そのうち1回は消防署の指導のもとに行っています。ただ災害時の食料と水の備蓄については実施できていない状況です。	避難訓練は夜間を想定したり、2階の利用者が階段を下りる訓練をしたり、地域の人々にも協力を得る等、訓練の内容をより実践に即したものに工夫してはいかがでしょうか。備蓄については、非常用食料や飲料水を2日以上備蓄することが望まれます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの確保の考え方にはスタッフで話し合い、記録物の保管にも気を使っている。入居者の方の声かけにも気をつけている。	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、誇りやプライバシーを損ねないよう職員の言葉かけや態度は明るく丁寧であり、やさしい雰囲気です。職員採用時に、個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフが注意深く見守る事で入居者の個々の想いを汲み取り支援するように心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせて、その日の体調もふまえて見守りながら支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	散歩に行く前でも服を着替える方は着替えていただき、病院へ行く時など外出の際にも好みに合わせた服を着ていただいている。居室に化粧品を持ち込まれている方もいてその都度対応させていただいている。 行事の時など、お化粧される方はしていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前にはお絞りをつくっていただいたり、テーブルを拭いていただいたり口腔体操などをして食事を楽しみにされています。片付けはご自分で持っている方は下膳していただいています。畑の食材が食卓に並ぶ事で入居者全員喜び食事を楽しみにされています。	食事は利用者の希望を聞いたメニューでベテランの職員が調理しており、利用者の嗜好に応じて別の献立を用意するなど、きめ細かく対応しています。利用者は買い物や「アキラ菜園」で玉ねぎや枝豆、きゅうりなどの野菜を収穫し、野菜の下ごしらえ、食事準備、後片付けなどのそれぞれの得意な分野で参加しています。職員は同じものを一緒に食べながら利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートを行い、楽しい会話となごやかな雰囲気作りをしています。誕生月には家族と一緒に昼食を食べ、家族との外食も楽しんでいます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をして いる	水分不足が起こらない様に1日の一人 ひとりの水分摂取量年間通して記録し ています。 1人分の食事量や歯牙の状態を把握 してその方にあった食べ方をしていた だき、ある方の食器は白に統一するこ とで食物を確認して全量摂取をして頂 ける様心がけています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアは必ずスタッフと一緒 に行っている。その都度異変があれば、 かかりつけの医師に受診する。 定期的に訪問歯科も利用している。 その都度状況に応じて診て頂いてい る。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を 活かして、トイレでの排泄や排泄の自立 にむけた支援を行っている	排泄表や本人の状態や排泄パターン を見てトイレで排泄できるよう支援して いる。出来るだけ布のパンツ着用でき るよう努めています。	排泄の記録をとり、利用者一人ひとり の排泄パターンや習慣を把握し、リハ ビリパンツから布パンツに切り替える 取り組みをしています。排泄の支援を 行った結果、自立に成功した事例があ ります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の申し送りで一人ひとりの排便状 況と水分摂取量などを確認し定期受診 に医師に相談する事で便秘予防に努 めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日や時間は決まっているが本人の希望やタイミング（湯や浴室の温度、）をあわせ入浴を楽しんでいただいている。	利用者は平均して週2～3回の入浴をし、希望があれば毎日でもできます。風呂を好まない利用者にも声かけ等を工夫し、週2回の入浴ができています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	天気のいい日にはシーツの洗濯やお布団を干す事やお昼から1時間でも横になっていただくことで、安眠できるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフが薬についての用法・用量・目的や副作用を理解するよう個人のファイルに挟んでおり入居者様に異変があれば迅速に医療機関に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	裁縫、塗り絵、歌、体操、家事（食器洗い、お盆拭きなど）玄関掃除など個々に応じた役割や趣味をいかせる様支援をホームでしていただいている。 デイケアに行かれる方はホーム以外での他者との交流などをして気分転換をしていただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	緑に恵まれたのどかな住宅地で近くに小学校もあり、日常的に天気のいい日には散歩をしています。地域の夏祭りや運動会など積極的に参加しています。本人の嗜好品など希望に添い外出しています。本人の希望に添い遠出でもご家族様のご協力のもと出かけられるように支援しています。	ホームの前にある貸農園で利用者が野菜の栽培をしている「アキラ菜園」があり、隣は田んぼで自然環境に恵まれています。毎日周辺へ散歩に出かけ、買い物にも出かけています。初詣や近隣の府立公園、大学の植物園へ季節の花見にも出かけています。大型のスーパーへ衣服の買い物にも出かけることもあります。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	出かける際には事業所で預かっているお財布をご本人様に預けご自身の嗜好品を購入していただいている。金銭の管理方法もご家族様と相談し決めている。入居者様から買いたい物の要望があれば事業所の立替を利用していただいで購入していただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	はがき、切手など購入にも散歩で出かけ自分の思いを書き、又散歩でスタッフと一緒に投函する。返事の来るのを楽しみにされています。本人の申し出によりホームからご友人・ご家族にお電話される方もいらっしゃいます。携帯電話を個人で持ってる方は、自分で自室から電話をする方もいらっしゃいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の健康、精神状態をうかがいながら表情が穏やかに保てるようテレビ・ラジオ・CDの音量や内容に気を配りエアコン・加湿器・温度計を設置して居心地よく過ごせる様工夫している。又季節感を味わって頂ける様入居者様と共に歌など口ずさみながら配色にも気をつけながら行事制作したり飾り付けたり、している。声のトーン又言葉遣い（優しく、はっきり、ゆっくりなど）を語りかけるよう心がけています。個々に合わせ畳が必要な方には畳を置くようにし居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ホーム周辺は自然環境に恵まれており、元日本食の料理屋の建物を改装し、ホームは独特の落ち着いた訪ねやすい雰囲気、玄関前にはたくさんの花や木の植木鉢がおかれ、友人宅を尋ねるような雰囲気になっています。リビング兼食堂は少し手狭ですが、季節感のある手作り作品にあふれ、唱歌の歌詞や処世訓を書いた利用者の達筆の書道作品が秀逸です。ソファや椅子もあって家庭的で落ち着きのある居場所となっています。日あたりのいい2階の広い廊下部分にも花や人形が飾られ、3人掛けのソファや椅子、マッサージチェアも置かれていて、利用者がボーリングや紙芝居を楽しんだりして、気分転換にいい寛げる居場所になっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自室は自分で掃除され（昔を思い出しスタッフも一緒に）昔お使用の調度品で家と一緒に過ごされていたように自分で飾られます。自由にリビングで過ごされたり自室で過ごされたりしている。ご家族様・友人・入居者同士の会話は廊下にソファをおいたり自室・リビングで過ごしていただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室は本人の希望で使いなれたものを家族と相談し自由においていただいている思いを伝えられない入居者には入居時又ご家族様の来訪時にご家庭で過ごされていた様子など又使われていたものを持っていただき出来るだけ家庭とホームとの違和感がないよう配慮しています。	広くきれいな居室には利用者が持ち込んだ整理ダンス、鏡台、椅子、亡夫の葬儀時の写真や遺影、額に入れた自分の写真、孫の結婚式の写真、家族の写真、時計、テレビ、書道・三味線の資格証、利用者が育てている水栽培の観葉植物等があり、個性的で居心地のいい雰囲気になっています。持ち込みのない利用者にはホームで整理ダンスを提供しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	今まで家庭や会社でされていた事をよくお聞きし何が出来るか又何に興味があるかを良く見守り出来る事が出来なくてもスタッフが共に行い掃除、洗濯、整理整頓、シーツの取り外し取り付け、洗濯物を干す又名前を見ながら分類する。入浴準備食事の片付け買い物、調理の準備、季節の壁面装飾づくり飾りつけ、その方の出来る事興味のあることに無理なく参加していただいている。全員同じことを強制的にさせることはしないよう、やりたいという気持ちを大切に支援している。		